

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	健康・医療心理学		
担当者(Instructors)	松田 凌	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

こころとからだは別々のものではなく、ともに影響をし合っている。心理学的視点からこころとからだの健康を維持するためには、メンタルヘルスや身体的健康、外的環境と、それらの相互作用の理解が不可欠である。また医療・保健分野において、健康・医療心理学の知見がどのように活かされるかを理解することも、心身の健康やその支援を考えるうえで重要である。加えて本講義では、医療を中心としたシステムや制度について、心理学的な観点から学ぶことで、心身の健康に関する理論や支援技法を理解し、医療・保健分野における実践について学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で実施する。臨床心理学研究に関する資料や事例を用いることで、内容の理解を促す。適宜、臨床心理学に関するグループワークやディスカッションも取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	健康心理学とは	本講義のガイダンスと、健康心理学の目的や対象者等について学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	健康心理学におけるアセスメントと支援	健康心理学で用いるアセスメントの方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	ストレスマネジメント	ストレスへの理解を深め、健康維持に役立つストレスマネジメントについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	各種の心理療法	健康心理学で用いる心理支援方について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	医療心理学とは	医療心理学と医療機関で求められる心理職の役割等について学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	医療心理学におけるアセスメントと支援	医療心理学におけるアセスメントの方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	精神科・児童精神科	精神科や児童精神科領域の機能や支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	コンサルテーション・リエゾン	コンサルテーション・リエゾン・多職種連携について学習する。	<input type="checkbox"/>
第9回	心療内科	心身症や心療内科領域における機能や支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	小児科	小児科領域の機能や支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	緩和医療	緩和医療等における心理支援や家族支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	産業保健	産業・労働分野における心の健康管理や心理支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	地域保健活動の実践	地域における保健活動やセルフケアの促進について学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	災害心理学	災害時の一般的な心理状態やその支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	自殺対策	自殺の現状や心理状態、その対策について学習する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習：授業で扱われるテーマに関わる理論・実験・出来事について事前にインターネット等で調べてくる。(2時間) 事後学習：講義を受けて振り返り、興味のあるポイントをさらに深く学習する。不明な点は次回講義の課題に記載すること。(2時間)

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回講義後に小テストを実施し理解度を確認する。提出された感想や質問については、次回の講義の冒頭で共有する。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	医療・福祉・教育の各機関における公認心理師の役割や支援における課題について、多機関との連携やチームアプローチを踏まえて検討することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
毎回の授業後に実施する小テスト(40%)及び第15回に実施する期末テスト(60%)に基づき評価を行う。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜紹介します。	
2		
3		
4		
5		